



岩手の山を^{モリ}森アゲる!

FORESTRY ACADEMY

林業は100年先へのギフト

プロフェッショナルを目指す場所

いわて林業アカデミー

岩手県林業技術センター

令和9年度 | 研修生募集

岩手県





世界レベルを見据え、技を磨き、仕事に生かす。

特集

第4回日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取

全国のライバルたちと林業に必要な技術を競い合う、日本伐木チャンピオンシップ競技大会。日本トップクラスの大会で、いわて林業アカデミーの修了生たちが躍動しました。

チェーンソーや伐木技術の日本一を決める「第4回日本伐木チャンピオンシップin鳥取」が令和7年10月18、19日に開催されました。全国から約80名の選手が集まり、1000人を超える観客の前で日ごろ磨いてきた伐木技術を披露しました。

大会にはいわて林業アカデミー修了生3名が出場。スロベニアで開催される世界大会の出場権を目指して奮闘した結果、ジュニアクラスの小原遼太さんが

全国2位の好成績を収めました。惜しくも世界大会への出場はなりませんでした。が、「全部やり切ってきました」と小原さんは胸を張ります。「普段は遠野の山で仕事をしています。その前は菰川（盛岡市）でした。仕事のモットーは楽しむこと。楽しくカッコ良く仕事をしたい。競技と実際の山の現場とでは環境は違いますが、チェーンソーのコントロール技術はどこでも通用します。いわて林業アカデミー



でしっかりと基礎を教わりました。アカデミー講師になった今、研修生にしつこく教えるのは『安全』のこと。それと『楽しむ』こと。辛い作業であっても『重い木材だけど、達成感がある』とか『寒くて辛いけど、生きている実感が湧き上がってくる』とか、ポジティブに捉えるのが仕事や人生を楽しむコツです。

今回でジュニアクラスは卒業となる小原さん、次回大会からはプロフェッショナルクラスで世界に挑みます。

第4回日本伐木チャンピオンシップin

鳥取においてジュニアクラス全国第2位に輝いた小原遼太さん。いわて林業アカデミーでは、伐木の理論を学びチェーンソーの基礎的なコントロール技術を磨きます。木の切り込みの角度をミリ単位でチェックしながら何度も練習を重ねることで、現場の木の様々な状況に対応し、

厳しい斜面の作業でも的確にチェーンソーを操れる高い技術を獲得していきます。この技術力が競技の場面でも発揮されます。

そして技術以上に重要視しているのが徹底した安全行動教育です。山の斜面でチェーンソーなどの機械を扱う林業では、

高い技術レベルと徹底した安全意識

安全が最も重要視されなければなりません。いわて林業アカデミーでは講師陣の安全意識も高く、機械の安全ブレーキの扱い方や、イヤーマフ、ヘルメットなどの装着が必ず習慣化するような教育が日頃から行われています。競技シーンにおいても、チェーンソー技術のほかこういっ

た安全行動も審査されることから、日ごろのアカデミーでの学びが競技レベルの高さにも繋がっているのです。

いわて林業アカデミーが誇る安全意識や技術教育が、これからの岩手県的林業の安全基準の向上や技術のレベルアップを支えています。

令和7年10月開催 / 第4回日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取

出場選手

3期生・島山直樹さん
(株)グリーンベース

3回目の大会出場。林業の魅力をもっと世の中に広めながら、世界大会での優勝を目標に今後も技術を磨きます！



4期生・高橋彩歩さん
(有)アイシンフォレスト

現場で上手いと思った先輩に憧れて2回目の出場。準備不足が反省点ですが、前回大会よりも楽しめました。



6期生・小原遼太さん
(株)昭林

決勝はとても緊張しました。最後の種目でチェーンが外れてしまったけど、やり切った開放感が大きかった。



[下段右:種目別 伐倒競技1位 小原選手]

[接地丸太輪切り競技 島山選手]

[枝払い競技 高橋選手]

[伐倒競技 小原選手]

いわて林業アカデミー研修生募集

岩手県林業技術センターでは、林業への就業希望者等を対象として、林業に関する知識及び技術を体系的に習得するための研修「いわて林業アカデミー」の令和9年度研修生を募集します。
いわて林業アカデミーは、将来的に林業経営体の中核となる現場技術者を養成します。

モリ 岩手の山を森アゲよう！

岩手県林業技術センター所長 田村 聡



本県では、現在、先人が植栽し育てたスギなどの人工林から生産された多くの木材が県内工場で利用・加工されるとともに、伐採跡地には次の世代が利用できるように植林が進められています。

林業は「植える、育てる、利用する」資源の循環利用と森林の適正な管理により、木材生産のみならず、国土の保全、水資源のかん養、温暖化防止等の多様な機能の維持増進を図ることで、環境や社会に大きく貢献できる仕事です。

私達の生活に欠かすことができない森林を守り育てていくためには、将来の林業を担う優れた現場技術者の養成が必要ことから、県では、林業への就業を希望する若者を対象に、森林・林業に関する知識や技術を体系的に習得する研修

「いわて林業アカデミー」を平成29年4月に開講し、これまで134名が修了し県内各地の林業現場で活躍しています。

アカデミーでは、国や研究機関、大学をはじめ、林業関係団体、企業などによるサポートチームの手厚い支援のもと、1年をかけて林業に必要な多くの資格取得に取り組むほか、造林から伐採・利用まで、林業の基本となる知識や技術の習得、林業作業における安全教育、林業事業体での就業体験などにより、林業現場での実践力を身につけます。

また、充実した研修内容と体制のもと、スタッフのバックアップや仲間同士の交流を通じて、森林や林業の魅力を見つけていただきたいと思います。
一緒に、岩手の山を森アゲていきましょう。

IWATE FORESTRY ACADEMY

いわて 林業 アカデミー 3つの 特徴

1

資格を取得し現場で活躍！

安全に仕事をするために様々な資格が必要です。
資格の取得は、自分や雇用者にとって大きな魅力です！

2

多くの林業機械に触れられる！

機械化が進む林業では、機械の知識と技術が特に必要です。
様々な林業機械操作の練習ができます！

3

オールいわてで就業をサポート！

研修内容の充実を図るため「サポートチーム」を結成！
実習では現場のプロ・機械のプロから様々なアドバイス！

いわて林業アカデミー 研修の内容 林業の基礎から重機の運転技術まで総合的に学びます。



1 林業基礎

森林・林業の基本として、林業の使命や仕事の内容、地図判読、道具や刃物の正しい使い方を学びます。



2 林業経営

森林組合や林業事業体の経営、木材価格や流通の仕組みを理解し、仕事のイメージを構築します。



3 安全衛生

林業の作業を安全に行うため、労働安全の基礎を理解します。



4 調査測量

樹木の見分け方、木の価値の調べ方、面積の測り方等の技術を習得します。



5 路網

山で仕事をするためには道は大事！道の作り方や道を作る機械の運転技術を学びます。



6 造林育林

木を伐ったら、木を植え、育てることが大切です。100年先へ森林を届けよう！



7 素材生産

安全で効率的な作業を目指して、チェーンソーや林業機械の技術を磨こう！



8 森林保護

気象害や病虫獣害から大切な森林を守るため、必要な知識を身につけて対策を行います。



9 木材利用

木材はどこでどう使われているか。木材利用の歴史から今を学びます。



10 特用林産

森林は木材を生み出すだけではない。いわてのシイタケ、木炭、漆は全国トップクラス！



11 就業体験

林業の仕事を体験し、林業で働くイメージをつかもう。



12 総合講義

職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要なマナー等を学びます。

林業分野に就業するうえで必要な資格を研修期間内に取得できます。

取得できる 10種の資格

- 林業技能士3級
- 車両系建設機械(整地等)運転技能講習
- 不整地運搬車運転技能講習
- 小型移動式クレーン運転技能講習
- 玉掛け技能講習
- 伐木等の業務従事者に係る特別教育
- 伐木等機械の運転の業務に係る特別教育
- 走行集材機械の運転の業務に係る特別教育
- 簡易架線集材装置等の運転の業務に係る特別教育
- 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育





熱心で頼もしい先生方と、
共に学ぶ仲間が支えてくれる

株式会社泉山林業
内藤 朱秋さん【東京都千代田区出身】

森の資源を自分の手で活かす林業に挑戦したいと思い、仕事に選びました。自然をただ消費するだけでなく、豊かな森林を自らの手で守り、次の世代へ繋いでいくのが林業の魅力です。

日々の仕事の中で、チェーンソーでの伐倒から林業機械での木材搬出、木材が資源として流通するまでを実感できるのが大きなやりがい。また、一歩間違えば危険な現場だからこそ、仲間と声を掛け合い、チーム一丸となって安全に一日の作業を終えたときには大きな達成感があります。

いわて林業アカデミーには、安全に、そして確実にプロとしての基礎を学べる最高の環境が整っています。熱心に指導してくださる講師陣や、同じ志を持つ仲間たちと出会えたことは一生の財産です！

Forest Worker Message

いわて林業アカデミー修了生（令和7年度・第9期生）からのメッセージ



自然の中で働きたい！
林業のカッコ良さに
憧れて

浄安森林組合
佐藤 大樹さん【岩手県二戸市出身】

もともと自然が好きだったので、自然の中で働く仕事に就きたいと考えて林業を志すようになりました。SNSで林業関連の発信を見て、カッコいいと思ったのも林業に憧れるきっかけになりました。現在の仕事内容は「地拵え（じごしらえ）」、「造林」です。木を植えるために地面をならしたりする仕事で、山の急斜面での作業や、石が多い現場での作業など大変なこともあります。しかし、自分が地拵えして木を植えた現場の作業が完了して、木が並んだ風景を見ると達成感ややりがいを感じます。

いわて林業アカデミーは、色々な資格を取得できて林業についての知識を学べる場所。ぜひいわて林業アカデミーで学んで、林業の仕事にチャレンジしましょう。

いわて林業アカデミーの学びの場

岩手県林業技術センターの紹介

岩手県林業技術センターでは、森林の公益的機能の増進及び林業の持続的で健全な発展に向け、林業の生産性向上などの技術開発のほか、林業従事者の技術向上と担い手の養成を図る各種研修に取り組んでいます。



管理・講義棟



平成5年に設置。研究、研修、普及の3本柱で本県林業の飛躍を支えます。平成29年4月にアカデミーを開講。木のぬくもりあふれる専用教室は最新教育設備や一人一台パソコンを整備。林業の基礎から最新技術まで学べます。



教室



センター総面積 14.92 ha

試験林	1.50ha
苗畑	0.75ha
樹木園	4.04ha
きのこ栽培試験地	1.70ha
建物敷	2.87ha
道路敷	0.75ha
防風林等	3.31ha



場外施設

林木育種場(奥州市江刺) 61ha

場外試験地

矢巾試験地(矢巾町)	15ha
浄法寺試験地(二戸市)	3ha
四日市試験地(岩手町)	87ha
六原採種圃(金ケ崎町)	25ha
小山苗畑(奥州市)	12ha
岩泉試験地(岩泉町)	3ha



四日市試験地



機械研修棟

アカデミーのホームグラウンドです。チェーンソーや重機はもちろん、伝統的な刃物から話題の「ドローン」まで、たくさんの便利道具を揃えています。研修コースや試験地で繰り返し練習し、操作方法を身につけよう。



外観



研修室



各機械など

アカデミーエントランス

研修の一日はここからはじまります。専用ロッカーで身だしなみを整え、雨に濡れた日は乾燥室を利用して明日に備え、交流室や多目的ホールでは仲間や林業の先輩と交流して1年後の林業就業に備えます。



外観(研修棟)



ロッカー



乾燥室



交流室



多目的ホール

IFA15

IWATE FORESTRY ACADEMY 15

岩手の山を^{モリ}森アゲろ!

林業は100年先へのギフト

いわて林業アカデミー研修生募集概要

応募資格 原則、42歳以下(令和9年4月1日時点)の者で、高等学校の卒業者等(見込み含む)

定員 15人 **研修期間** 1年間(1,500時間程度) **受講料** 年額118,800円(予定)

※別途、教科書代、実習・研修用装備代等が必要となります。

緑の青年就業準備給付金制度

林業への就業に必要な知識等を習得し、将来的に林業経営体の中核となり得る人材として期待される研修生に対して、安心して研修に専念できるよう給付金を支給します。

※【参考】給付金の上限額142万円(12万9千円×11ヵ月分)

国の予算の状況により上限額の給付とならないことがあります。

給付金の支給要件 常用雇用の雇用契約を締結していないこと

給付金の返還要件 ①研修修了後、1年以内に林業分野に就業しない場合
②林業分野の就業を2年間継続しない場合 など。

ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

「いわて林業アカデミー」に関するお問い合わせ

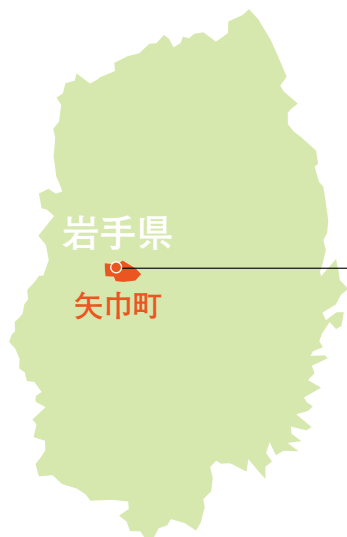
岩手県林業技術センター

〒028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割560番地11

TEL 019-697-1536 FAX 019-697-1410

岩手県林業技術センター **検索**

URL <https://www2.pref.iwate.jp/~hp1017/>



車で行く

- 矢幅駅から煙山ダム方面へ約13分(約6km)
- 盛岡駅から県道13号線経由で約30分(約14km)

バスで行く

- 県交通矢巾営業所行のバスに乗りし、矢巾営業所で下車。矢巾営業所から徒歩約30分(約2km)